

研究主題「自分の考えをもち、主体的に学びに向かう生徒の育成」  
～書く・説明する活動を取り入れた授業づくりを通して～

## 吉舎中研究だより vol.4 令和7年12月19日研究部

### 第5回校内授業研究会 教科：社会 授業者：〇〇教諭

11月4日(火)に研究授業を行い、研究協議を行いました。授業提案をしてくださった〇〇先生ありがとうございました。

#### ★参考になる(次につなげたい)ポイント

##### ①見通しをもてる授業

単元ごとにつくられたワークシートにより、単元の始めから生徒は授業の見通しをもって学習に向かうことができていました。また、ホワイトボードに流れを示すことで、本時に取り組む内容もよく分かるように工夫されていました。

##### ②模造紙にまとめる学習⇒紙にまとめることで個性発揮

今回の授業では、北陸・中央高地・東海のそれぞれの地域の産業について各自で調べ、それをもとにグループに分かれて模造紙にまとめる活動をしました。まず個人で付箋に書き出したものを、模造紙に出し合い、まとめるという作業はまとめ方や生徒が気付く視点等に個性が表れていました。



##### ③自分の考えやグループの考えをさらに言葉で整理するために

今回は、各模造紙にまとめるという作業を行いました。そこからさらに、まとめたものを言葉で説明させることで、より理解や思考が深まるのではないかという意見が出ました。例えば、ジグソー学習の方法を取り入れ、エキスパート達が別のグループへ説明をすることなどの案が出されました。



#### ★今後に向けてのキーワードは…

「どうまとめるか」

何のためにまとめるのか、次はどう活かすのか、上手にまとめていた生徒はなぜ良かったのかが子どもたちに伝わると、まとめ方(表現の仕方)がレベルアップしそうです。



自分の考えをもち、主体的に学ぶ生徒の育成を目指して、今回の学びをつなげていきましょう。